



■国内最大級の駅型商業施設が誕生

JR西日本SC開発の商業施設「LUCUA 1100(ルクアイーレ)」が4月2日、JR大阪駅のノースゲートビルディング西館にグランドオープンする。**店舗数は158店、店舗面積は約3万3000平方メートル。**既存の東館「ルクア」(202店)と合わせて「LUCUA osaka」を構成し、**駅型では国内最大級の店舗数360店、売り場面積約5万3000平方メートルを持つ商業施設が誕生**する。



主なターゲットは、既存ルクアの利用者層である20歳代前半より一段高い、30～40代のファッション感度の高い男女。リニューアル前のJR大阪三越伊勢丹で採用していた百貨店戦略を大きく見直し、「買ったものが百貨店の商品だったと後で気が付くような」気軽に入店できる雰囲気づくりに力を尽した。ルクアとルクアイーレの2施設を合わせて、**初年度に売上高770億円、来場者数7000万人を目指す。**

■ルクアイーレの特徴

ルクアイーレは、百貨店の売り場面積を従来の4割に縮小し、8つの「isetan」ショップに分割。各店はそれぞれ、**①食品、②アクセサリ、③シューズ&バッグ、④シーズン雑貨、⑤ファッション雑貨、⑥コスメ、⑦レディス&メンズ、⑧メンズに商品群を特化**しており、そのアイテム編集力や、上質な品ぞろえで複数フロアの随所に存在感を示している。

また、**消費者に「敷居が高い」と感じさせる要素を取り除き、まずは施設内に人を呼び込む戦略に転換。**その最も象徴的なフロアが、メインエントランスのある2階。通常、百貨店では正面玄関に入ってすぐの区画には有名ブランドの服飾雑貨が入るのがセオリーだが、ルクアイーレでは持ち帰り専門業態の「スターバックス コーヒー アトリウムガーデン」、カフェ・チョコレート店「マックス ブレナー チョコレートバー」といった店が客を出迎える。

さらにその先に、プチギフトに最適な雑貨や菓子、食品、食器が手に入るテナント群を展開。服飾雑貨ではなく、食べたなら消える、あげたら消える食品やギフトを扱うことで、ターゲットである30～40代が入店時の堅苦しさを感ぜずにすむよう工夫している。

そして、地下2階に新たに設けた「バルチカ」は、これまでの大阪駅にはなかった女性が気軽に利用できる隠れ家的飲食ゾーン。最大の特長は営業時間が24時までと終電間際まで利用できる点で、急げば店からJRの改札口まで約3分で到着することも可能となっている。

営業時間

B2F-9F: ショッピングフロア	10:00～21:00
※一部営業時間が異なる店舗がございます。	
B2F: バルチカ	11:00～24:00
10F: ルクアダイニング	11:00～23:00

あべのハルカスに期間限定ウイスキーバー登場 セミナーやパネル展示も展開



■あべのハルカス近鉄本店で「ワールドウイスキーバー」

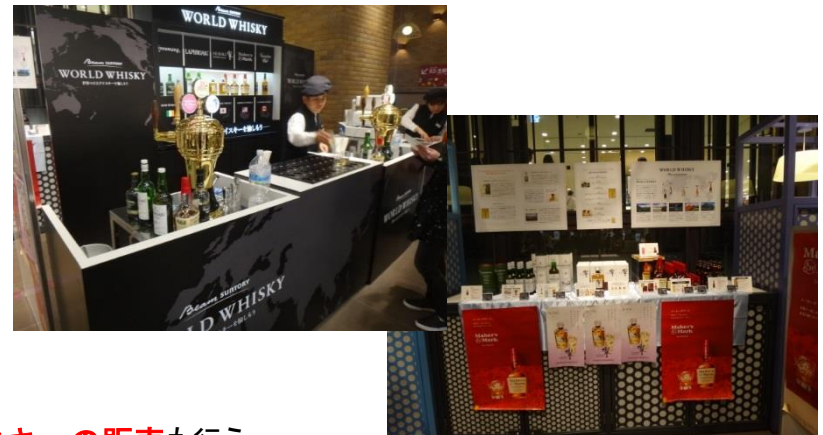
あべのハルカス近鉄本店ウイング館地下2階街ステーションで4月23日から、**世界5大ウイスキーが楽しめる「ワールドウイスキーバー」が開催**される。
【ウイスキーバーは4月23日(木)~4月29日(水)までの7日間。開催時間は11時~20時30分】

■ワールドウイスキーバー



▼ウイスキーバーで用意するのは、

- 「響<JAPANESE HARMONY>」(日本)
- 「メーカーズマーク」(アメリカ)
- 「ラフロイグ10年」(スコットランド)
- 「カナディアンクラブ ブラックラベル」(カナダ)
- 「カネマラ」(アイルランド)



- ・価格は、各1杯(ストレートまたはロック、各20ミリリットル) = 300円
- ・5大ウイスキーの飲み比べセット(ストレート5杯、各15ミリリットル) = 1,000円

会場では、**サントリーとビーム社の歴史をパネルで紹介**するほか、**ウイスキーの販売**も行う。

期間中、世界5大ウイスキーの作り方などを紹介する**ウイスキーセミナー**も開く。開講時間は、14時・15時・16時・17時・18時の1日5回。

定員は各回先着15人。



大阪・南堀江に4月3日、「ヤマハ大阪ビル」がオープンした。鉄骨造地上7階建てで、建築面積は213坪、延床面積は1518坪。土地代を除く投資額は約20億円。心斎橋・なんば・大阪城近くにあった3拠点を統合し新たにオープンしたもので、ヤマハの事業拠点としては西日本で最大となる。同施設内には、楽器や楽譜の販売店のほか、ショールーム、音楽教室、ホール、サロンを備える。ファサードはヤマハのシンボルマークである「音叉」からヒントを得た、3種類の凹みをアルミニウムで表現。どの角度から見ても常に太陽の光を反射して輝く造形となっている。

1階～2階の「ヤマハミュージックリテイリング大阪なんば店」は、3万2000冊を誇る楽譜のほか、キーボード、電子ピアノ、エレキギター、アップライトピアノ、バイオリン、ギターなどをそろえる。防音室のショールーム、リペアルーム、セミナーや音楽イベントに使えるサロンも備える。四ツ橋筋に面した1階は19メートル幅の大型ガラス張りで開放感を演出する。



3階の「ヤマハグランドピアノサロン大阪」では、80坪の売場に約30台のグランドピアノを展示する。指弾室では1台1900万円のグランドピアノも試し弾きできる。最大120人収容の小ホール仕様の音楽サロンも備える。

4階～5階には大人向けの音楽教室「ヤマハミュージックアベニューなんば」、6階～7階には子どもと指導者向けの音楽教室「ヤマハなんばセンター」を開設し、計3000人のレッスンに対応する。

【フロア構成】

- 7階・6階 **ヤマハなんばセンター**
(ヤマハ音楽教室 ヤマハ音楽院大阪校)
- 5階・4階 **ヤマハミュージックアベニューなんば**
(ヤマハ大人の音楽レッスン)
- 3階 **ヤマハグランドピアノサロン大阪** / **ヤマハなんばセンターサロンアルモニー**
- 2階 **ヤマハミュージックリテイリング大阪なんば店**
(ピアノ/管弦打楽器/管弦器リペア室/防音室/サロン)
- 1階 **ヤマハミュージックリテイリング大阪なんば店**
(楽譜/音楽書籍・雑誌/音楽小物/など)



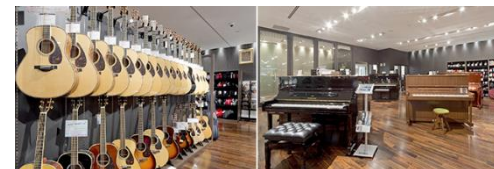
▲1Fヤマハ大阪なんば店



▲3Fヤマハグランドピアノサロン大阪



▲4・5Fヤマハ大人の音楽レッスン



▲2Fヤマハ大阪なんば店



▲3Fヤマハなんばセンターサロンアルモニー



▲6・7Fヤマハ音楽教室

日本初! 走れるショッピングセンター誕生!! もりのみやキューズモールBASE GRAND OPEN

2015年
4月27日

できたよ!



■コンセプトは「ココロとカラダ、森ノ宮にオープン」

東急不動産は4月27日、大阪・森ノ宮に新商業施設「もりのみやキューズモールBASE(ベース)」を開業した。敷地面積約2万3000平方メートルの同館が位置するのは、日生球場の跡地。ランニングスポットとしても人気の大阪城公園に隣接するエリア特性を活かし、「スポーツと健康」に特化した新しいスタイルの商業施設になっている。



一番の目玉は、屋上に配したランニングトラック「エアトラック」だ。人工芝を敷いた1周300メートルの3レーントラックで、誰でも無料で利用できる。トップアスリートが所属し、健康のアドバイスやサポートを行う一般社団法人



「アスリートネットワーク ラボ」が監修した。他にも、2面のフットサルコートや、フィットネスクラブ「東急スポーツオアシス」、クライミングジム「クライミング バム」、スポーツ洋品店「スーパースポーツゼビオ」といったスポーツ関連のテナントが並ぶ。「東急スポーツオアシス」には、関西初出店の「アディダス ランベース」が入る。



「コミュニティ」をキーワードにした新業態にも注目。市民参加型コミュニティ図書館「まちライブラリー@もりのみやキューズモール」は、市民から本の寄贈を受け付ける新しいスタイルの図書館。本にメッセージを書けるカードを添え、借りた人がメッセージを足していくユニークな仕組みだ。ブックカフェ「スタンダードブックストア」と協業した新業態のブックカフェがオープン。

「ココロとカラダ」というコンセプトに特化し地域に根差したショッピングモールをめざし、初年度は400万人の来場を見込む。